

## しんらん同人

NO. 519

11月号

二〇一三年十一月一日発行 郵便番号1100525  
 発行所 東京都豊島区南長崎一丁目三の八 誓願寺  
 TEL 36950 78228 FAX 36950 68820  
 記一 SEIGANJI@RESET.JP

ぞけられ広  
 まることはな

事をする、それが悲しい凡夫の  
 すがたである」といわれた親鸞聖  
 人のお言葉を、どう聞かせていた  
 だくのであろうか。

お念仏申しながら、まことに  
 恥ずかしい日暮しをしている自分  
 である。それでいいなどは、決  
 して思わないし、そうあってはな  
 らないと思いつながら、あさましい  
 日暮をしている。

朝夕のお勤めひとつをとっても、  
 まとも如来聖人の御恩に感謝  
 しつつ礼拝することさえない。癩

癩ものの私は、お念仏をいただきな  
 がら、相変わらず癩癩玉を爆発させて  
 いる。

「わが機ながめりや、あいそもつき  
 る。わが身ながらもいやになる」とう  
 たった同行がある。

全くその通り、そして、それに続い  
 てこううたっている。

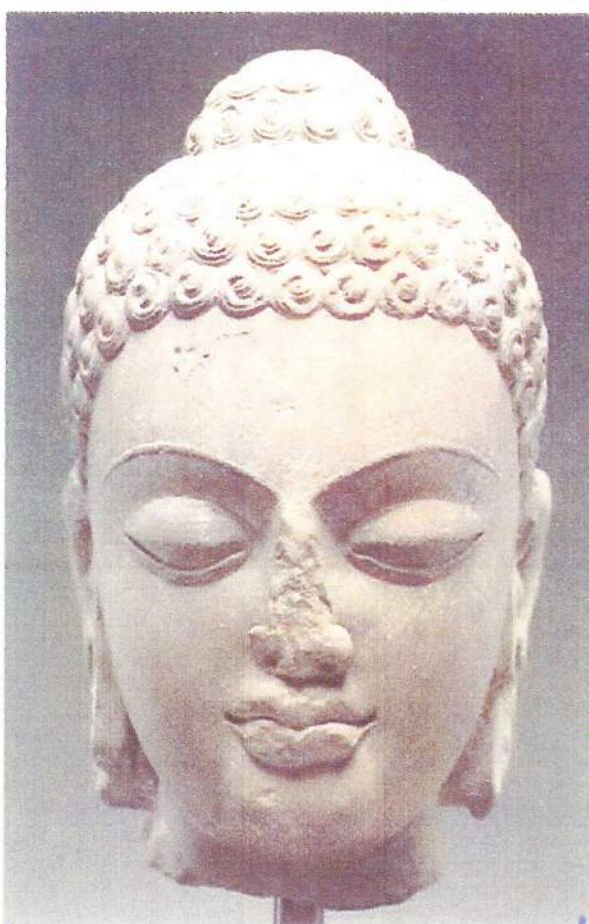
「いやになるよな、ぎまたれ婆ばに、つ  
 いてはなれぬ親ごころ」と。

わが身ながらもいやになるようなど

## わが身を省みて

「毎日のように寺に参り、念仏申す身でありながら、日常の生活を他人から非難されるような人がいる。それでいいのだろうか。人はその人の日常生活の良し悪しを見てその信仰のよしあしを判断する。その生活が美しければ信仰の人であり、その教えも立派だという、どんなに教えが立派であっても、その教を奉ずる人の生活が美しく無ければ、その教えはつまらないものと判断する。だから、信仰者はそれらしい美しい生活態度がなければ、その教はしり

い」こういう考え方をしている人は多い。  
 その意見は全くその通りだと思っ  
 だが、その考えを自分自身に向けた  
 らどうであらうか。私は念仏者であ  
 ります。だから誰からも非難される  
 こともない、自分自身はじること  
 ひとつもありませんとはっきり言い切  
 るだろうか。実際にそのとおりの人  
 あるならば念仏をいただく用事の無  
 い人ではないか。



## 仏頭 Head of Buddha

グプタ朝の古典様式といわれる完成度の高い仏像。文化的に成熟したもの、精神的な昂揚感が伺える。

(松戸市立博物館蔵)

「思っ  
 てはな  
 らない  
 ことを  
 思い、  
 言っ  
 たら  
 ない  
 い、し  
 てはな  
 らない

うしようもない自分に、ついてはなれない真実の親がましますのである。迷いを出ることのできない者であればこそ、如来の本願はここにかけてられたのであった。

どうしようもないこの私に如来の悲願がおこされたのである。まことに勿体ないことである。ありがたいことである。申し訳ないことである。ただ恥じ入るばかりである。

もし少しでもよいことがあるとすれば、それは大悲回向のはたらきに他ならない。

良きことを思いつくのもご恩なり、悪きことを思い捨てるのもご恩である。

あつかましい私は如来の光につつまれ、やがてお浄土に参らせたいと聞かされてみれば、何かじっとして居れない。



### 風呂の中の念仏

お風呂に入りますと一番先きにお念仏が出ます。のびのびと湯舟に入つて念仏が称えられます。一緒に入つていた孫が、「祖父ちゃんはお風呂でいつもナンマンダブというのだね」と言います。まったくその通りで、どうしたわけかお念仏が出ます。「風呂の念仏」とてもいいでしょうか。

ところが昨日は私一人で入り、ふと思いました。

「念仏が申されるのは心配ごとがない時ではなからうか」

妻はペースメーカーを入れています。お医者さんは心配ないと言いますが、自分の力で心臓が動いているのではないのでどうかならないのかと案じられます。でもおかげさまで半年近くになりますがうまい具合に動いて、普通の人と少しも変わらず元気に過ごしています。その前には胃癌の手術をしました。病気がかりする人ですが、胃癌をしてからは再発しないだろうかと思っていました。これがいったこともなく今日に至っています。

おかげで昨日はなにも心配することなくお風呂に入り、気持ちよかったです。

いお念仏が出ました。

どこが悪くて明日は病院に行かねばならぬというのでしたら称えられたでしょうか。そんなことを思うと心が安らかなだからと思わずにはおられません。悲しい時も苦しい時もお念仏は出ます。そして出た時はなんとなく心が安らぎます。

仏法者は仏法を主とし  
世間を客とせよ 仏法を  
中心として世間の仕事を  
してゆく事である

(開書)

同じく念仏する人は、  
世界中みんな兄弟である

(論註)

十一月二十四日(日)

午前十時 午後一時

## 報恩講嚴修

講師 高田慈昭師

昼のおときを用意します。  
家族揃ってお参りください。

恵みに答える集いが報恩講です。「恩」は「めぐみ」であり、今ここで生かされているのは、色々な人やものに支えられているからです。着ているもの、食べているもの、住んでいるところつまり衣食住を考えてみても、自分で材料からすべてを作ったものはありません。さらに社会の恵み、自然の恵みで生きています。うことです。それに対して感謝の心を持たせていただく事は大切であります。

しかし、もっと深い恵みを思わ

ねばなりません。それは私の命と人生を広大な知恵で照らし尽くし、深遠な慈悲で包んでくださっている阿弥陀さまの御本願のめぐみであります。そのことを親鸞聖人は自ら「いのちと人生を尽くして明らかに教えてくださいました。この阿弥陀仏の広大で深遠な願いを「他力」というのです。一般には「他力」を「他人まかせ」や「他にたよること」と思い込みがちな状況に対しての意味深い言葉づかいであるといえましょう。



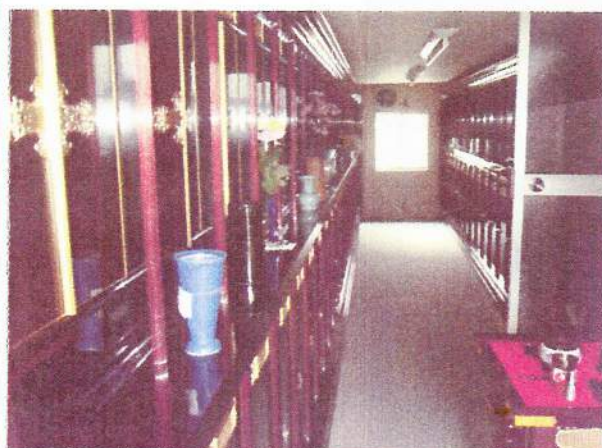
したがって、他力に生かされて生きることは、仏の絶対力のめぐみに生かされているのちを尽くすことであります。今まで自分中心・自我中心に生きてきた私が、仏の願いにひるがえされ、仏の眞実まことをよりどころとする、本当の主体性のある人間とかえるはたらくが他力であります。そしてその本願他力の具体的なすがたこそが仏のいのちそのものである南無阿弥陀仏なのです。

「私のいのちは南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏が私のいのち」といえるまで、聞かせていただき、お育ていただかなければなりません。このことを深く思いつつ「めぐみにこたえるついで」としての報恩講のご縁をよろこばせていただきますよう。

## 新しい納骨仏壇

今元氣なときにあなたの納骨仏壇を用意しませんか。核家族となり、昔のような親子の関係が変わりつつあります。安心して生きていくための準備が必要です。三十万円から九十万円の納骨仏壇を用意しました。一人用と家族用です。

お気軽にご相談ください。



## 釈 尚文 独り言

人々のお寺離れが進んでおり、新しくお寺に参られる方が少なくなっています。

余暇や娯楽を充実させる 様々な情報が、これでもかこれでもかと発信されている日々。自分の存在意義を考えさせられる場面がすくないというのが、現状ではないでしょうか。

身近な人の死や自身の体調不振で死を意識したり、社会的な立場での失敗で立ち直れないと感じたり等々、日常生活では稀にし

### 十一月御法座案内

十日(日) 午前十時 聖典講座

正午 健康相談

講師 佐藤公彦医師

十七日(日) 午前十時 なかよしくらぶ

十九日(火) 十一時 歎異抄の会

廿四日(日) 午前十時 午後一時

### 報恩講法要厳修

か起こらない事態、しかし人間だれしも避けることの出

来ない事態(逆縁)に触れた時に、フト自分の生き様を振り返るのかもしれない。

一方その苦しい気持ちのど真ん中に立たされたときに「自分は何を目標に生きていくのか」という問題を解決するのは至難の業でしょう。

苦しみのど真ん中ではなく余裕がある時にじっくり問題解決に取り組み、答えを見つけた上で今を心豊かに生きることが出来ます。

自分の生きる目標・生きる

理由が定まった人の人生は、充実した納得の人生だと思えます。

話は変わりますが、

日頃当たり前のように車を運転していても、一度だけ任意保険が切れている事

がありました。知らなかったときは普段と同じ運転をしていましたが、無保険にきづいた瞬間から怖くてハンドルを握ることができませんでした。

人生・後生の一大事・車の運転を同じ目線で述べるつもりはありませんが、お寺も、「若いうちから安心を持って生活していただくために」という視点から考えれば、今何をすべきか、道が開けそうな気がしてなりません。

### 編集後記

◎九月に行った「五時間法話」は百四十人以上の人が集まり先生方の丁寧な法話を聴聞できて、大変有意義な法話会であった。

◎また機会があったら、規模を小さくしてでも行いたいと思う。



◎一人になって、昼間は妹夫婦がいてくれるが、夜になると一人ぼっち。そんなときにいつも傍にいてくれるのが、リキとナナ、何も言わないが本当になぐさめられる。